

## 防災対策

### 地震津波対策を問う

#### 百年対応の緊急避難所整備



やま さき まさ お 山崎 正男 議員

**答** 松田 総務課長

大規模な天井落下は基本的に考えにくく、耐震補強の必要性は薄い。

**問** 住民が被災した時、身元確認ができる対策を講じるべきではないか。

**答** 松本 住民課長

身元確認は東日本の活動を参考に、より良い対策を講じていきたい。事前の対策は防災の基本であり、今後の協議としたい。

**問** 被災した場合の申請手続きや補償内容等の説明書を、住民に早めに配布すべきではないか。

**答** 大塚 地域住民課長

被災申請手続等の説明は避難道や避難場所を積極的に整備した上で前向きに進めていきたい。

### 観光振興

イベントの費用対効果は

約8600万円の直接効果

**問** イベントや行事についてどう考えるか。まず、イベント行事の件数と費用を伺う。

運営上、職員や町民の負担になっているものはないか。現状で町が力を入れ継続が必要なものと検討が必要なものがあるか。

効果や人気の判断は費用対効果で考えるか。

**答** 森下 産業推進室長

年間件数と費用は、砂浜美術館に3件委託607万円。野球の公式戦を2試合開催90万円で合計697万円。教育委員会は21件で607万円。

また、イベント等は、町民の皆さまや職員に協力を頂き

開催しているが、趣旨はご理解頂いていると考える。

町は今後も継続して開催していきたい。教育委員会は、廃止の検討はしてないが、運営方法は検討も必要と考える。

効果や人気の判断については、まず、地域利益を考え、集客数やマスメディアの報道等が一つの指標になる。

委託分は、昨年度2万8709人の観光客が訪れ、直接効果については、約8600万円。二次波及効果については、1億3600万円の効果があると試算している。

### その他の質問

※教育現場の防災対策。 ※滞納整理について。

**問** 津波の浸水域の対策は、町内全域で最大浸水高を指すのか、段階的な高さで整備するのか。また、特に浸水高が高い地域には特別な対策はあるのか。

**答** 大西 町長

まず、100年～150年周期の地震に対応した黒潮町基準の緊急避難所を全町的に整備していきたい。法律的に特別な財政上の上乗せはない。

対象事業の拡大が最大の要望点だ。津波高表示板等を24年度中に設置したい。



佐賀荒神山に設置の水道タンク



坂折地区のカツオのぼり祭り